



# 園部共同作業所 だより

園部共同作業所発行

〒622 0011  
京都府南丹市園部町上木崎  
町入道32  
電話0771-62-3249  
FAX0771-63-2941

NO 95

## 二十三年間お世話になりました

作業所や福祉関係に皆無の私が園部共同作業所にお世話になって二十三年の年月が過ぎました。当初は下請け作業を正確に覚えるのが精一杯でまさに暗中模索の日々でした。メンバーさんへの対応はあれで良かったのかと自問自答する毎日、そんな時、当時は保健所へ出向いていっての行事も多く、その時「新しい指導員さんはどう？」の問いかけにメンバーさんのひとりが「作業所のお母ちゃんみたいなのや」と言ってるのを耳にしました。そう難しく考えず作業所のお母ちゃんになれたら：と思つたら少し気が楽になり、それから皆さんと共に作業や行事に参加する中でいろんな経験をさせていただきました。作業の他にメンバーさんの家庭訪問もしました。その一人目は何でも真面目にやるHさん、彼女を訪ねると、うれしそうに迎えてくれましたが、中を見ると窓側には隙間なく服が吊られ明かりも風もふさがれています。テ、ブルも本来の役目を果たせず物置きと化し、どこで食事をするのか、炊事場の床は何色なのか想像できない程、これはもうお母ちゃんの出番です。その日は気合いを入れて出掛けました。とに角不要品を処分するのが先ですが、たばこのヤニでベタベタの衣装箱の

中は十年以上手を通していない服が一杯であふれた夏物・冬物衣類があちこちに、淡い色の服は茶色に変色してしまっています。押し入れで見つけた沢山の洗剤や漂白剤はいつ使つて、もらつてはいるのかと、ひとり笑つてしまいました。何とか説き伏せ不要品は処分し、どうにか片付けたらいつの間にか夕暮れになって慌てたものです。又Mさん宅は親御さんから保健所に「お盆までに片付けたいが手がつけられない」と要請があり、四名でお助けマンとして出勤、Mさんの部屋を開けるや襖によりかかつていたゴミがバサリ、ある程度覚悟はしていたが「もうやるしかない」とゴミの山に向かつて突進、ジュースの空き缶、溶けかけのアメやチョコ、洗つてない汗のついた衣類、おまけに化粧品臭いが混ざり：終わるころには私達の鼻はマヒしてしまいました。迎えに来てくださった保健所の車に乗った途端「すごい臭いやな」とあわてて窓を開けられたのだけは覚えています。後で聞いたらゴミは軽トラック五台分、空き缶はビニールのゴミ袋三つはあったと。衣類の始末や不要品の処分等は意外と大変なのだと思つたものです。おかげで私は少々のゴミでは驚かない免疫力をもらいました。

平成十二年には念願のグルーブホームも出来ました。その際はホーム改修等の募金、竣工式の準備など慌ただしい数ヶ月。心の健康推進員さんには多大の助けをいただいた事、忘れられません。メンバーさん達とも新しい出会いあり、又別れもありましたがおひとりおひとり

お付き合いました事が私に大きな力をもらつていたと今改めて思い出されます。

八月七日をもって退職いたしました。八月七日、その間、杉山所長様はじめ関わらせていただいた皆様にはご指導いただいたり支えてもらった事に感謝し厚くお礼申し上げます。充実した二十三年間をありがとうございました。

黒田 トキエ



## そうめんの販売お礼

ご協力ありがとうございました。

恒例になっております夏のそうめん販売、今年は消費税引き上げで価格も値上げとなりましたが、関係機関の方々、又お知り合いに声をかけてくださった多くのボランティアの皆様方には、主旨をご理解下さり昨年並みの販売数をお買い上げいただけました事、ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。通所の皆さんに待望のボ、ナスを支給でき喜んでおります。



## 行事・レクレーション

- 六月九日 みーちゃんカレー
- 八月二日 七夕まつり
- 八月七日 黒田先生送別会
- 八月八日 海水浴  
由良（雨のため水族館見学）
- 九月八日 みーちゃんカレー  
（サツマイモカレー）

## 寄贈品（平成二十六年六月〜九月現在）

- あたご電子様 サイダー一箱
- 黒田 トキエ様 お菓子
- 南丹看護学院様 お菓子
- 島原そうめん様 そうめん
- 児島 美由紀様 サツマイモ

## 寄付金

- 黒田 トキエ様
- 南丹市チャリティゴルフ実行委員会様

ありがとうございました。

